



2020年10月29日

各位

会社名 J B C Cホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東上 征司
(コード番号 9889 東証第一部)
問合せ先 執行役員企画担当 岸本 肇
(TEL 03-5714-5171)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2020年7月31日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想並びに配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	56,500	2,200	2,250	1,500	93.73
今回発表予想(B)	58,000	2,700	2,750	1,750	109.16
増減額 (B-A)	1,500	500	500	250	—
増減率 (%)	2.7	22.7	22.2	16.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	65,618	3,461	3,606	1,951	119.80

(修正の理由)

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)においては、新型コロナウイルス感染症の急拡大による緊急事態宣言解除後社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、お客様のテレワーク環境の整備需要や業務のデジタル化ニーズが拡大し、当グループが注力する付加価値の高いクラウドサービス、セキュリティサービス、New SI(新しい手法によるシステム開発)を中心に戦略注力分野(WILD7)の領域が順調に伸長いたしました。あわせて、お客様向け大規模イベントのウェビナー開催への切り替えや、テレワーク環境に移行したことにより広告宣伝費、旅費交通費等の販売費及び一般管理費が抑制されました。この結果、当第2四半期連結累計期間の実績は売上高、利益とも7月31日に公表した2021年3月期第2四半期連結業績予想値を上回りました。

第3四半期以降の業績につきましても、戦略注力分野(WILD7)の領域が順調に伸長するものと予想しており、テレワーク環境による勤務形態を継続することで販売費及び一般管理費の抑制を見込んでおります。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、お客様の経営環境及び先行きの見通しは依然厳しく、検討中の案件の延期や見直し等IT投資を抑制する動きも見られます。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想につきまして、上記の通り修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2020年7月31日)	26円00銭	16円00銭	42円00銭
今回予想	26円00銭	24円00銭	50円00銭
当期実績			
前期実績	25円00銭	25円00銭	50円00銭

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

本日発表いたしました業績予想の修正を踏まえ、当社の財政状態、配当性向等を総合的に勘案し、2021年3月期末の配当予想につきましては24円とし、2021年3月期の年間配当予想を50円に修正することといたしました。

なお、経済動向の先行きが極めて不透明な状況ではありますが、当社といたしましては、収益力の状況や財務健全性、配当性向等も勘案しつつ、株主の皆様への利益還元についても十分な配慮を行う方針であります。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上